

小坂小・中の給食で提供 **桃豚ロース** **おいしい！**



銘柄豚「桃豚」で知られる養豚業・ポークランドグループ(小坂町、豊下勝彦代表)は26日、同町の小坂小・中学校(中村史子校長、199人)の給食にロース肉を提供した。児童、生徒はしょうが焼きにした地元産の豚肉を味わった。

1枚40～50^{グラム}の豚肉約 200 食分を提供した。小学 5 年生のクラスでは、給食の前に豊下代表が桃豚の生産量などを説明。外部からウィルスや菌が持ち込まれるのを防ぐため、農場には入浴施設があり、従業員が入退場時に利用していることなどを紹介した。

児童は豊下代表と談笑しながら給食を味わった。安保優月さんは「桃豚は軟らかかった。自分の町で豚が育てられているのを知り、いいなと思った。家でもまた食べたい」と話した。(本多恒顕)

(令和7年11月27日(木)秋田魁新聞から一部抜粋)